

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	開所から2年が経ち狎れが出てきているところもある。 入居者、職員の立場から、介護をしてあげているといった考え方や態度になっていないか振り返りが必要。	入居者の気持ちになって考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的(会議などの場)で日々の対応などを振り返る機会を設ける。 尊厳、プライバシーに関する研修の実施。 	12ヶ月
2	47	認知症持ちの方、自覚的に趣味や特技を活かして生活することが難しい入居者が多い。生活を送る上で、役割、楽しみ(生きがい)を持ってもらうために、入居者について知ること、また、気持ちを汲み取ることが必要。 時には誘導も必要だが、誘導の仕方に不安を持つ職員がいる。	入居者(歴史、思い)を知って、生きがいを感じてもらおう。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者のアセスメント(興味、歴史、思い)→生活プランの作成→モニタリングとカンファレンス実施。 上記一連の流れのを職員で自主的に行えるよう、業務の整備。 	12ヶ月
3	32	看取り対応について、本年度実際に対応したが、不安がある職員が多かった。看取り対応の中で、職員間での考えや対応の違いに疑問を持つ職員もいたようだが、その際には声が上がってこなかった。不安も多くあり研修を希望する職員が多かった。	入居者の最期について知り、皆で考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 看取り対応についての職員間の思いの確認。 看取り対応の研修の実施。(持ち回り形式、全職員が参加型の研修の企画) チームケアについての研修の実施。 	12ヶ月
4	34	夜間帯はどうしても職員1名での対応となってしまう。地域の方々の協力は不可欠である。	地域との結びつきを強くしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への積極的な参加。 災害時の問題点についての洗い出し。 運営推進会議にて避難時の問題点について議題提供。 地域住民の避難訓練への参加依頼。 	12ヶ月
5	6	「身体拘束等の適正化のための指針」が未整備である。	指針を整備しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 指針の整備。 適正な委員の運営。 	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。